

令和5年度 南城市幼小連携事業  
【佐敷小学校1年生授業参観及び振り返り(意見交換)録簿】

- 1 日 時 令和5年4月26日(水) 8時10分～9時30分 15時～16時30分
- 2 場 所 佐敷小学校1年1組、1年2組
- 3 参加者 園長3名 保育者11名 教育指導課4名 こども保育課1名  
佐敷小学校校長・教頭・担任2名 計21名(授業参観) 意見交換(17名)

4 授業者の振り返り

司会：教頭

○1年1組 担任

- ・昨年から1年生担任をしている。昨年佐敷幼稚園を参観して表示等参考にしている。給食も自分達でできていたので4月から子ども達とやっているが上手にできている。
- ・バンビ保育園を参加した際には、製作遊びが充実していたのでのんびりタイムに紙コップや紙皿折り紙等を置いたらいろんな物を作っている。子どもの発想はすごいと思う。
- ・なかよしタイムで何をやったら喜んでやるか、椅子取りゲームやハンカチ落とし等子どもたちに聞きながらリズムやゲーム等を行っている。

○1年2組 担任

- ・4年担任から1年担任になった。  
スタートカリキュラムの実施で「のんびりタイム」は学校に来てのんびりと絵を書いたり、粘土、製作等好きなことや得意なことをやっている。
- ・「元気調べ」では「〇〇さん」「元気です」から最近「幼稚園の先生に会いたいです」とか自分の言いたいことを付け加える子が出てきた。一日一日成長を感じる。  
「なかよしタイム」は学級のみんな楽しめるよう、フルーツバスケットやなんでもバスケット(音楽の授業との関連)を楽しんでいる。  
悩み：みんなが楽しんでやっている時「僕、やらない」「やりたくない」という子がいる。今は子どもの声を大事にしながら「どうしてやらないの？」と理由を聞いているが「やりたくないからやらない」という子はどうしたらいいか。保育園とかではどうしているかな。子ども同士で誘い合い「一緒にやろう」「練習と思ってやってみよう」との友達の誘いで今日は全員がやっていた。
- ・遊びがどうしたら授業につながるか悩んでいる。



のんびりタイム：登校したら好きな場所で、好きな遊びに取り組んでいる  
笑顔で取り組んでいる。製作等、工夫して遊ぶ姿が見られた。

## 5 意見交換

- ・すぐに授業に入らず、園でやっていたことを楽しみながらスタートし、授業に入りやすいと思う。
- ・動きもあり、絵本読み聞かせもあり静と動のバランスが良かった。
- ・一年生になったという表情が見られた。
- ・大里北小学校を参観してきたがのんびりタイムに時間をとって、遊びから授業に入っていけると思う。

Q：一年の教室隣に中庭があるが遊べないのはなぜ？

A：5校時前の長い休み時間には遊べる。今はまだ5校時がないので遊ばせていない。

- ・学校探検1回目があり、2回目、3回目で学校全体が解る。今は、自由に動かす時間は厳しい。

教頭：ベランダスペースが広くあり、廊下の製作コーナーの環境もあり良かったと思う。

- ・1組側のテラスで縄跳び、長縄など楽しそうに遊んでいた。自由に遊べるスペースがありいいと思う。

Q：ハンカチ落とし等、先生が入ることで子ども達がもっと楽しめると思う。園では先生も一緒に楽しんで遊びが盛り上がっている。

A：小学校では、見守ること安全管理の立ち位置でやってきた。

2組では、先生も一緒にやったりしているが遊んだら全体が見えないこともある。

校長：小学校では教えるのではなく考えさせることを重視している。自主的、自発的活動な行動を学校では強化している。

- ・のんびりタイムで算数セットも自由に使ったり、自分の好きなことやっていて良かった。先生も子ども達に聞きながら進めていたので良かったと思う。
- ・先生方が一人一人に声をかけ、それぞれの園から来る子ども達受け止めまもめていたので良かった。
- ・園では、心情・意欲・態度でやっている。まずは心情面から入っていかないと態度にはならないゲームやリズム遊びをやりたくない子の心情をどう育てるかが大事と思う。子どもの背景を探りやりたくなるような環境や言葉かけが必要だと思う。園ではそのようにしている。

Q：園では、文字は教えていないが、廊下に初めて名前を書いた用紙が掲示されていた。

言葉で伝えたりして、文字指導は行っていないがこれでいいか。(保育者)

A：文字に関しては、保育園等であえてさせる必要はない。今、一画で書く文字「つ」「く」を始めている。鉛筆の握り方の癖を直すのが大変。ひらがなは“書ける書けない”は気にならない。

(一年担任)

- ・園ではお箸の持ち方、使い方を指導している。
- ・なかよしタイムで子ども達同士伝え合っているのがいいと思った。じゃんけん列車でじゃんけんする子がいなくて困っている子に気づいた子が声を掛け合っている姿がいいと思った。困っていた子は声かけられて和らいだ表情になった。

教頭：しっかり話をきくことができる一年生、先生の目を見て聞く態度が育っている。保育園、こども園、幼稚園ではどのように指導していたのか。

- ・0歳～1歳の間に自分の思いを出させてあげあげる。3・4歳になると徐々に楽しく遊ぶためには互いの話を聞かないといけないことが分かり相手の話を聞こうとするようになる。例えば、ルールを作ったり、遊びを進めるため話合うようになる。

- ・トラブルを大事にしている。トラブルからルールを作る。信頼関係づくりを大事にしている。
- ・子ども主体となる保育をしているから子どもが主人公で型にはめていない。(保育者)
- ・園では朝顔植えるときも「子ども達がわくわくするような動機付けをしている。  
「これなんの種?」「図鑑で調べて」「これって朝顔というんだね」と期待させてから植えている。
- ・小学校でも機械的にやらない。教科書の「朝顔植えよう」では、植え方を黒板で○型磁石を使って考えさせている。5個の種を縦一列に並べて植える、横一列に並べて植える、丸く植えるなど理由を「なぜそう思う?」と発表させて、考える場面を作っている。

Q: 2組担任の悩み

なかよしタイムでリズム遊びや踊りなど「僕は絶対にやらない」と動かない子がいる。

保育園やこども園等ではどうしているか?

A: 信頼関係づくりが大事では?子どもは、先生を試したり駆け引きしたりする時がある。のんびりタイムでこの子と関わってみたらどうでしょうか。

- ・タイミングをみて楽しいツボ探しをしている。先生と仲良くなるようにしている。(保育者)
- ・自園ではその子の意思を尊重する。(保育者)

Q: 現在、一年生が掃除をどの程度できるか分からない。園ではどのように掃除をしていたか知りたい。「佐敷小学校の掃除の仕方」を1年生から6年生まで共通実践をするため、6年生に教えてもらっている。①机寄せ ②隅からはく ③ふく 手順を教えてもらった子をリーダーにして掃除を進めていく予定。

A: 園では、年長組になると当番活動として掃除も分担してやる。飼育当番、水やり当番、給食当番、床拭きなど当番表で役割分担して行っている。(保育者)

- ・各園の掃除の仕方を一年生にさせてみてはどうでしょうか。年長組は雑巾を絞ったり、拭き掃除をしたり上手である。長いほうきは保育者が使い子ども達は小さなちり取りを使ってごみを集めているところが多いと思う。方法は違うが考えさせるとできると思う(行政)
- ・小学校は15分しか掃除時間がない。当番にすると当番でない子の管理が難しい。

<校長>

- ・今日の一年生の教室・廊下の環境は視覚化されている。
- ・動いたり、絵本を読んで静かにしたり、静と動のバランスが良かった。
- ・幼児教育の積み重ねがあって今がある。遊び込んで没頭して学びにつながる。
- ・学校では大きく時間をつくってやるのが難しい。その壁をどうするか。スタートカリキュラムの取組だと思う。
- ・幼児期の積み重ねを大事にしていきたい。

○課題

- ・教師の立ち位置⇒もっと動きがあってもいい。なめらかにやるといいなと思う。
- ・廊下で楽しんでいるのが教室まで持ち込めるか、切らないで学びに向かっていけるか?  
CDや音楽も活用すると心が弾むのではないか。参加しやすくわくわくする。
- ・今後も幼児教育施設と小学校との意見交換を行っていきたい。

<行政から>

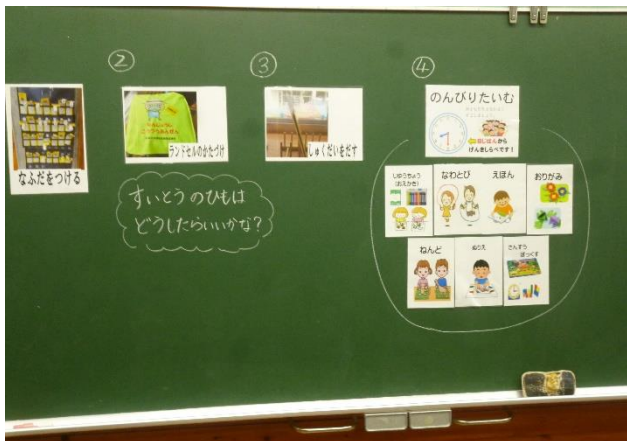
- ・のんびりタイムへの先生方のかかわりは、見守りと安全確保のみでなく子ども達の取り組んでいることを認めてあげる言葉掛けがあるといいと思う。  
のんびりタイムの製作遊びは、次の教科へとつなげることはできるでしょうか。

縄とびなど体育にもつなげられる。

- ・のんびりタイム、なかよしタイムの振り返りがあってもいいと思う。
- ・今後も、お互いの保育や授業を見合い意見交換できたらいいと思う。



のんびりタイム：違う園から来た子どもも楽しく遊んでいる。友達関係づくりと安心感につながっている



一日の流れが可視化されている。  
表示を見ながら自分で行動している。



一年生の学習の様子が写真で可視化され、保護者に伝えられている。親子の対話と安心につながっている。

